

道路の整備は、地域の利便性向上や安全確保など県民の生活に様々な効果をもたらします。



一般国道254号 和光富士見バイパス

周辺道路の交通量の変化

	【開通前】		【開通後】
県道ふじみ野朝霞線	8,227台	➔	5,999台
県道保谷志木線	7,147台	➔	4,838台

周辺道路の交通量が約3割減(△4,537台)

※平日12時間交通量
※交通量調査日: R4.11.24(開通前)・R6.5.14(開通後)

渋滞の改善

バイパスの開通により、下南畑交差点の渋滞長が大幅に減少

【開通前】		【開通後】
620m	➔	160m (△460m)

※国道254号バイパスの川越方面から国道463号へ向かう方向の最大渋滞長(平日12時間観測)
※調査日: R4.11.24(開通前)・R6.5.14(開通後)



現道



バイパス

一般県道 幸手境線

交通量の変化

バイパス	6,890台 / 12時間
現道	4,683台 / 12時間 (開通前6,200台 / 12時間)

現道の交通量が24%減(△1,517台)

※調査日: R2.11.12(開通前)・R3.12.1(開通後)

走行時間の短縮

・バイパスの開通により、走行時間が短縮しました。

【開通前】		【開通後】
現道利用 26分	➔	バイパス利用 15分 (△11分)

※調査日: R2.11.12(開通前)・R3.3.25(開通後)
※幸手団地入口交差点～消防署前交差点までの所要時間

安全性の向上

・狭隘な現道の交通量が大幅に減少し、交通事故が減少しました。

	【開通前】		【開通後】
<交通事故件数>	2件	➔	0件 (2件減)

※調査日: R2.4~R2.12(開通前)・R3.4~R3.12(開通後)



開通前の現道



バイパス